

2012年(平成24年)6月28日(木曜日)

生き物の多様性 田植えから学ぶ

赤松小、食育教育で

佐賀市

佐賀市の赤松小
(貞包弘章校長)

の4年生103人が27日、同
市金立町の水田で田植えに挑



横一列に並び、同じ間隔になる
よう気をつけながら苗を植える
子どもたち—佐賀市金立町

戦した。ジャンボタニシやカ
エルなど田んぼの生き物にも
触れ、生物の多様性を学んだ。

大手スーパー・イオンの食

育活動の一環で、県内ではJ
Aさがや県の協力で2010
年から取り組んでいる。収穫
した稲はイオンのプライベート

トブランド商品として販売
し、子どもたちも店頭販売に
挑戦する。

雨の中、カップ姿で約2ヶ
の田んぼに入った子どもたち
は、時折跳びはねるカエルな
どの生き物に歓声を上げなが
ら、「ひのひかり」の苗を丁
寧に手植えしていった。楊井
あすかさん(9)は「泥に足が
はまって植えるのが大変だっ
た。秋に収穫するのが楽しみ」
と笑顔で話した。

同校は総合学習として県庁
周辺のハスの再生にも取り組
んでおり、稲の成長観察と合
わせて植物に外来種が与える
影響などを学ぶ。